

ビジョン

平成20年1月

今年の経営計画発表会には560名もの人が参加してくれます。去年を100名も上回る人が参加して頂けることは私達の夢が少しずつ実現していると思っています。古田士会計のビジョン(夢)は日本中の中小企業を元気にすることです。中小企業が元気になることにより、多く働く社員と家族が幸せになることです。うちは会計事務所ですが、会計を通じて社会に貢献します。その一番の道具は経営計画書を作ることです。経営者が経営計画書を作る過程で多くの気づきがおこり、経営者自身を大きく成長させてくれるからです。会社は何のために存在するのか、人間としての生き方、社員の処遇、10年後、20年後の自社のあるべき姿、いろいろ気づかされます。また現状とのギャップの大きさも気づかされます。そこから経営者のチャレンジが始まるわけですね。社長が変われば会社が変わります。会計事務所が経営計画書を作りましょうとやり方を教えてもお客様は来ない、高いお金を会計事務所に払って経営計画書を作っても運用のしかたを見せていないためお客様は実行できないわけですね。古田士会計の経営計画書の実行レベルはまだまだ未熟ですが、自分達のビジョンを実現しようと本気になって実践している姿をお客様に見せています。一社でも多くの中小企業に実行してもらうために、お客様に古田士会計の経営計画書を差し上げています。見本として真似してもらうためです。経営計画書を作る一番の早道は他人のものをパクることです。そして真似しながら自社の独自なものを入れていくわけですね。古田士会計では利益計画等の数字の作成のお手伝いを無料です。一言式に独自の工夫をしています。一社でも多くの会社に数字による計画を作成して利益を出し、内部蓄積を厚くし、つぶれない会社、社員が未来に希望の持てる会社にしてほしいという切なる想いからです。利益は社員を守るためのコストであり、この蓄積が将来に代が社に何かあったときに社員を守ります。内部蓄積の少ない経営をしているといざというときに社員を守りません。自分が明日死んでもよろいにお金と人のぬん(信用)の蓄積はしておくべきです。古田士会計は現実を拡大はしていますが、膨張しているだけですね。お客様にうちの経営計画発表会を見て頂き、お客様が経営計画書を作り、会社がよくなる。人を大事にする経営をすることにより社員とご家族が幸せになる。人が幸せになるために会社があります。私達のビジョンは日本中の中小企業を元気にして、人を幸せにすることにあります。そのため、目次決算書と経営計画書の指導、実践で日本一に力をつける「教える会計事務所」ではなく「見せる会計事務所」になります。経営計画を実践する「見せる会計事務所」を日本中に作り、日本の中小企業を元気にします。この使命を果たすために私は今年も人の5倍懸命に働きます。

古田士 満